



農協だより

Vol.89

URL: <http://www.ja-aki.jp>

平成 26 年 1 月

新年のご挨拶

安芸農業協同組合
代表理事組合長 永山 洋介

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。

昨年は、夏の参議院選挙で衆参ともに自民党が多数をしめ、安倍首相のもと、アベノミクスと呼ばれる景気対策、日銀による異次元の金融緩和策により景気動向にも明るさが見え始めてまいりました。

しかしながら、農業を取り巻く環境が、TPPへの参加問題や農家の経営所得安定対策の見直し、農業従事者の益々の高齢化により就農人口の減少等厳しい環境となっております。

また、気候的にも夏には高温状態が長く続きましたし、8月の終わりから9月初旬に長雨となり、コシヒカリの収穫に多大な影響がありました。

畑作におきましても、害虫被害が多く発生しました。

そのような情勢のなか、引き続きまして、当JA独自の米の買い入れを行いました結果、8,626袋(平成24年産米9,232袋)の出荷をいただきました。誠にありがとうございました。

また、11月17日から12月1日にかけて、管内各地で開催されました農産物品評会では多くの出品をいただきました。

今後も農業振興の一環としまして、当JAとしてもご支援してまいりたいと考えております。

今後とも農家・組合員の皆様のご期待に添える「JA安芸」を目指し、役職員一丸となりまして邁進する所存でございますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。



春菊・水菜立毛品評会

12月20日に安芸区職員、JA安芸営農指導員により、立毛品評会を行いました。水菜では、秋に気温が高く経緯し生育が進みすぎる恐れがありましたが、11月中旬からの寒波により生育が停滞し、早目に保温を行っている圃場では順調に生育し、年末出荷が可能な状態となっていました。保温が遅れた圃場では草丈が22cm程度で年末の出荷が間に合わず、年明けの出荷となりそうな状況でした。春菊は、一部やや大株になっている圃場もありましたが、病害虫の発生もなく各圃場とも生育が良好で甲乙つけがたい状況となりました。午後からは阿戸支店にて市場の担当者による指導を受け、年末からの市場出荷に向け出荷目合せ検討会を行いました。

米の検査状況

25年8月下旬から9月上旬の曇雨天や台風による影響で早生品種は、ほとんどの圃場で倒伏及び刈遅れによる品質低下。中生品種は9月中旬以降の高温により、稲の活力低下による登熟不良やカメムシ類の斑点米、ウンカによる坪枯れ被害などの影響で1等米比率は3割程度で昨年に比べ、品質は低下しました。作況指数県南部98でしたがJA安芸では平年より多く検査することができました。ありがとうございました。

今年度も栽培履歴回収にご協力いただき、大変ありがとうございました。回収させていただきました履歴を分析検討し、今後の営農指導に役立てたいと思っております。来年度も引き続きよろしく願いいたします。

名柄	1等	2等	3等	規格外	合計
コシヒカリ	0	543	714	115	1,372
ヒノヒカリ	1,882	2,819	924	64	5,689
JA米ヒノヒカリ	697	485	133	0	1,315
あきろまん	25	164	0	0	189
その他	13	48	0	0	61
合計	2,617	4,059	1,771	179	8,626

農業祭開催

11月30日、12月1日に坂町農産物品評会が開催され、坂会場209点、小屋浦会場88点、合計297点の出品があり、坂町長賞、安芸農業組合長賞等、合計91点の入賞を選びました。

今年で62回目の開催となる大変伝統のある品評会ですが、夏の猛暑や秋の長雨などの影響で、苗の植付けが遅れたり、大根は発芽不良のため種を播き直すなど初期管理が難しく、秋にはヨトウムシやべと病など病害虫被害が多かったため、良質な作物を作るのが難しい年となり、昨年に比べ出品点数がやや減少しましたが、白菜をはじめ立派な物が多数出品されていました。

審査は、形・大きさの揃った物、締りの良い物、曲りの少ない物など市場性を考慮し入賞しました。また同日に熊野町農業祭も開催され、92名439点の農林産物が出品されました。こちらの品評会でも夏から秋にかけての異常気象で、昨年の752点から大幅に減少しましたが、その中でもより良い農産物を熊野町長賞、安芸農協組合長賞等、82点選定しました。

